



特定非営利活動法人STスポット横浜  
平成30年度 事業報告書

平成31年3月31日

## ごあいさつ

S T スポット横浜は「アートと市民社会の新しい関係づくりを推進するとともに、アートの持つ力を現代社会に活かし、より豊かな市民社会を創出すること」を目的にして今日も活動を続けています。

文化芸術を取り巻く環境の動きは激しく、国レベルでは 2020 年の東京オリンピックに向けた文化プログラムの実施や、各地でのアーツカウンシルの設置が行われ、横浜でもキャパ 2000 人規模の劇場新設が検討されています。一方で分断する社会に対抗し、社会的包摂を念頭に置き社会の多様性を確保するという観点から、障害者とアートをつなぐ取り組みなどに新しい光が当てられるようになりました。

私たちは、S T スポットの施設運営と作品創造を通して創造環境の向上をはかり、教育・福祉・まちづくりなど隣接分野と地域間の連携を模索する中で、新たなアートの価値を作り続けていきます。

今後とも、皆様方からの暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

理事長 小川智紀

## 目次

施設運営・創造発信事業／創造環境事業部	2
1. S T スポットの施設運営	2
2. 自主事業	3
教育普及・交流促進事業／地域連携事業部	7
1. 教育事業	7
2. 地域事業	9
3. 福祉事業	12
事務局	15
2018（平成 30）年度財務諸表	16

## 施設運営・創造発信事業／創造環境事業部

### 1. STスポットの施設運営

STスポットは昨年度に引き続き、利用者の安全や使いやすさを重視した施設管理運営と自主公演事業等の充実を目指しました。

前年度に比べ利用団体数、貸出日数は減少したものの、劇場利用に慣れていない利用団体へのサポート体制を整えることで、若手劇団や地域の団体の利用増加につなげることができました。

昨年度に引き続き、老朽化した備品や運営体制の整備を行いながら、スタッフの知識や技術の向上を図ることで、誰にでも利用しやすい場所を目指すとともに、若手育成や人材育成、実験・創作の場としてのSTスポットをアピールすることができました。

【表1：STスポット年間開館状況】

項目	今年度	昨年度	備考
開館日	347日	310日	
稼働日	250日	286日	
稼働率	72.0%	92.3%	稼働日÷開館日
開館率	71.0%	82%	開館日÷350日*
プログラム数	73本	52本	
利用団体数	22団体	29団体	

\*ビル休館日およびメンテナンス休館を除いた年間稼働可能日数

【表2：STスポット年間利用状況】

項目	今年度	昨年度	備考
STスポット総入場者数	10,134人	11,515人	
利用団体観客数	4,932人	5,012人	
利用団体スタッフ数	1,455人	1,254人	
事業観客数	2,915人	3,949人	
事業スタッフ数	832人	1,300人	

【表3：STスポット月別開館状況】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日	29	29	30	31	31	27	30	30	28	23	28	31	347
稼働日	28	10	25	23	30	16	12	28	23	17	17	21	250
稼働率	96.6%	34.5%	83.3%	74.2%	96.8%	59.3%	40.0%	93.3%	82.1%	73.9%	60.7%	67.7%	72.0%
一般利用	1	3	2	2	1	4	3	5	2	3	1	3	30
自主事業他	2	1	6	5	7	3	2	2	4	3	4	4	43
プログラム数	3	4	8	7	8	7	5	7	6	6	5	7	73

【表4：STスポット稼働日内訳（種目別）】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般利用	12	9	6	11	4	3	10	25	6	14	1	8	109
自主事業他	16	1	19	12	26	13	2	3	17	3	16	13	141
稼働日	28	10	25	23	30	16	12	28	23	17	17	21	250

【表5：STスポット稼働日内訳（ジャンル別）】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
演劇	27	5	19	5	4	1	6	21	20	14	11	8	141
ダンス	0	0	0	13	7	1	0	3	1	0	0	7	32
稽古	0	1	3	0	13	6	1	3	1	0	5	1	34
講座	1	0	2	5	6	2	5	1	1	3	1	5	32
その他	0	4	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	11
稼働日	28	10	25	23	30	16	12	28	23	17	17	21	250

【表6：利用団体一覧】

団体名	タイトル	利用期間
シラカン	『坦々とおこり』	2018年4月4日～4月15日
ONOONO	第2回公演『RIGHT NOW』	2018年5月17日～5月20日
スミコ演劇隊	旗揚げ公演『きらくにようこそ』	2018年5月24日～5月27日
タタミグループ	第2回公演『自問自答』	2018年5月31日～6月3日
劇団あげ玉	『マッチ売りの少女』	2018年6月15日～6月17日
劇団「無題」	第23回公演『永遠夜想』	2018年7月6日～7月8日
妖精大図鑑	『Encöünt!』	2018年7月24日～7月31日
劇団ペリどっと	第6回公演『スクールカーストですとらくしゅん♡』	2018年8月2日～8月5日
横浜ヨコハマ	第9回単独ライブ『横浜封印!!!!』	2018年9月2日
カダムジャパン	『カタック舞踊祭』	2018年9月9日
ストミック	『ワナビーエンド』	2018年10月9日～10月14日
ジョン・スミスと探る演劇	『タントンの部屋で』	2018年11月1日～11月4日
YNU プロダクション	『Aladdin』	2018年11月7日～11月11日
中屋敷 南	新作ダンス公演『The Girl in Rabbit's skin』	2018年11月16日～11月18日
ひとりぼっちのみんな	『キャンプ茶毘』	2018年11月19日～12月2日
屋根裏ハイツ	第5回演劇公演『ここは出口ではない』	2018年12月20日～12月23日
TEAM IMITATION	『SとS』	2019年1月8日～1月13日
劇団スクランブル	『GOLDEN TIME』	2019年1月17日～1月20日
アクション集団とびでるなかみ(仮)	ACTION LIVE vol.1.1『とびなかっていいな』	2019年1月24日～1月27日
The Party 企画	#2『Cocktail Party』	2019年3月14日～3月16日
相模舞台同盟	ギガレア公演☆☆☆☆『ココロ引越屋 IN Wonderland』	2019年3月29日～3月31日

## 2. 自主事業

自主事業では Dance Dance Dance@YOKOHAMA2018 の共催公演として、福留麻里×村社祐太朗による新作公演『塀出(とやで)』を行いました。また音響家・牛川紀政氏の選出のダンスショーケース企画『地上波 第四波』と、関連企画として「DJナイト」や音から身体を考えるワークショップ、観客参加型企画としてSTスポット+BONUS『ダン

ス・ハーベスト vol.1』を行いました。

共催事業では、ままごと『ツアー』で 1,045 人の動員を記録しました。また A C Y の助成を受けた山縣太一によるオフィスマウンテン新作公演『能を捨てよ体で生きる』、同じく A C Y 助成採択者の Aokid によるダンス公演『地球自由!』では広報支援や制作サポートを行い、アーティストと劇場による新たな創作体制の構築を試みました。

提携事業では、モメラスによる利賀演劇人コンクール 2017 優秀演出家賞受賞作品『青い鳥 完全版』、おかつぱ企画による民俗芸能調査をもとにしたダンス企画『灯火ねんねん』の公演サポートを行いました。

ワークショップ事業の実施を充実させることで、発表だけではない創作や思考の場としての在り方を模索しました。ワークショップでは手塚夏子による『体の観察→関わり方の観察→実験作り』と題したワークショップとベルリン滞在の報告会、Somatic Field Project による振付家ワークショップ、Aokid による通年の企画として「Play Map City」を行いました。また「WSを囲む会」のサポートにより、ワークショップファシリテーターによるプログラム開発を支援しました。

### 1. 主催事業



#### 『地上波 第四波』

2018年8月24日～8月26日

企画・音響：牛川紀政 出演：川崎麻里子（ナカゴ）／作・演出：太田信吾、後藤ゆう、東島未知（COLONCH）／音楽：武田直之、政岡由衣子（BATIK） 全3回 動員149人  
関連企画「間を聴くワークショップ～低く受けて、高く放つための～」

2018年7月22日 全1回 動員15人

音響家・牛川紀政キュレーションによるショーケース企画。若手振付家の支援とコンテンポラリーダンスの活性化を目的とし実施しました。音と身体の関係を探るワークショップや参加型のDJナイトなど関連企画も充実させたことにより、観客がダンスを鑑賞するだけでなく、自ら体験し振付家らと対話する場を創出しました。



#### Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018 共催

福留麻理×村社祐太郎 新作公演『峠出（とやで）』

2018年9月28日～9月30日

ダンス：福留麻里 テキスト：村社祐太郎（新聞家） 全5回 動員144人

ダンサー・福留麻里と演劇作家・村社祐太郎によるコラボレーション公演。お祭りの風景を見る少女の視点で描かれたテキストを、そこから独自に創作された盆踊りの身振りとともに発話するパフォーマンスは、言語と身体・ダンスの関係や、舞台芸術における新たな表現方法を探求するものとなりました。



STスポット+BONUS 『ダンス・ハーベスト vol.1』 —プレイしてリプレイして「キセキ」を収穫するダンスのお祭り—  
 2018年12月28日  
 出演：神村恵、たくみちゃん、中村達哉、桑原史香、武本拓也、永野百合子  
 モデレーター：Aokid 全1回 動員32人

ダンスを作るためのプラットフォーム「BONUS」との協働企画。ポップソングをバックにダンサーが即興で踊るパート、その記録映像を再生しながら観客とディスカッションするパート、また最も印象に残った瞬間を「ベスト・ハーベスト賞」として選出する計3つのパートで構成されたこの企画は、想定された以上に観客の参加を促すこととなり、ダンスをする・観る・考えるための新たな仕掛けを示すものとなりました。

2. 共催・提携・協力事業



- (1) ままごと『ツアー』 作・演出：柴幸男  
 共催 2018年4月21日～30日 全23回 動員1045人
- (2) オフィスマウンテン『能を捨てよ体で生きる』 作・演出：山縣太一  
 共催 2018年12月5日～16日 全10回 動員446人
- (3) Aokid『地球自由!』 振付・演出：Aokid  
 共催 2019年3月7日～11日 全7回 動員178人
- (4) Aokid『PLAY MAP CITY』  
 共催 2018年4月～2019年2月 全6回 動員37人



- (5) 手塚夏子ワークショップ『体の観察→関わりでの観察→実験作り』  
 共催 2018年7月16日～18日 全7回 動員60人
- (6) Somatic Field Project 主催「振付家ワークショップ vol.1」  
 共催 2018年8月28日～9月1日 全5回 動員80人
- (7) 「WSを囲む会 公開版」  
 共催 2018年3月18日～19日 全2回 動員30人
- (8) モメラス『青い鳥 完全版』 演出：松村翔子  
 提携 2018年6月20日～7月1日 全14回 動員506人

地球自由!



- (9) おかつぱ企画『灯火ねんねん』 振付：若林里枝  
 提携 2018年7月13日～7月15日 全4回 動員83人
- (10) 新聞家『失恋』 作・演出：村社祐太郎  
 協力 2018年10月28日 全2回 動員80人
- (11) オフィスマウンテン山縣太一ワークショップ  
 協力 2019年3月17日、3月27日、3月28日 全3回 動員30人

【表7：主催事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ (人)	スタッフ のべ(人)
『地上波 第四波』	2018年8月24日 ～8月26日	2,800	3	149	13	21
『地上波 第四波』関連企画「間を聴くワークショップ ～低く受けて、高く放つための～」	2018年7月22日	1,000	1	15	0	6
福留麻理×村社祐太郎『時出(とやで)』	2018年9月28日 ～9月30日	3,000	5	144	9	18
STスポット+BONUS『ダンス・ハーベスト vol.1』	2018年12月28日	2,000	1	32	7	5

【表8：共催事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ(人)	スタッフ のべ(人)
ままごと『ツアー』	2018年4月21日 ～4月30日	2,500	23	1045	69	184
オフィスマウンテン『能を捨てよ体で生きる』	2018年12月5日 ～12月16日	3,000	10	446	44	80
Aokid ダンス公演『地球自由!』	2019年3月7日～ 3月11日	3,000	7	178	8	40
Aokid『PLAY MAP CITY』	2018年4月2日、 6月4日、8月13 日、10月15日、 12月17日、2019 年2月17日	0	6	37	0	4
手塚夏子ワークショップ『体の観察→関わりの観察 →実験作り』	2018年7月16日、 7月17日、7月18 日	2,000	7	60	0	15
Somatic Field Project『振付家ワークショップ vol.1』※	2018年8月28日 ～9月1日	25,000	5	80	13	13
「WSを囲む会 公開版」	2019年3月18日、 3月19日	0	2	30	16	16

※森下スタジオでも開催

【表9：提携事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ(人)	スタッフ のべ(人)
モメラス『青い鳥 完全版』	2018年6月20日 ～7月1日	3,000	14	506	96	96
おかつぱ企画『灯火ねんねん』	2018年7月13日 ～7月15日	3,000	4	83	15	21

【表10：協力事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ(人)	スタッフ のべ(人)
新聞家『失恋』	2018年10月28日	3,000	2	80	2	2
オフィスマウンテン山縣太一ワークショップ	2019年3月17日、 3月27日、3月28 日	2,500	3	30	0	15

## 教育普及・交流促進事業／地域連携事業部

### 1. 教育事業

横浜市文化観光局、横浜市教育委員会、横浜市芸術文化振興財団と協働して、文化施設・芸術団体と市内の小・中・義務教育・特別支援学校が連携して芸術文化の取組みを行うために「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」を設置し、事務局代表団体として事業の進行管理を行いました。

学校現場に対する直接的な取組みとしては、平成 30 年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業－コミュニケーション能力向上事業－」と横浜市の事業を連動して、小・中・特別支援学校 4 校にてコーディネートを行いました。そのほか、今年度は不登校状態にある児童生徒の支援施設における取組の試行として、ハートフルルーム十日市場にてコーディネートを行いました。



#### 1. 学校と文化施設・芸術団体の連携による基盤整備

平成 30 年度横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局の運営の一環として、学校において子どもたちが創造的な体験できるプログラムを、コーディネーター、アーティストおよび教師が協力して実施できるように具体的な調整を行い、適宜学校やアーティストからの相談を受けました。また、過去の実績の蓄積や、広報（記者発表、ニュースレター発行、独自ドメイン取得によるホームページ運営）を行いました。あわせて平成 31 年度実施に向けての要項・募集案内を作成し、横浜市内の市立小・中・特別支援学校に広報を行いました。

このほか、教師および文化芸術関係者等のためのワークショップとして実施した内容は、次のとおりです。

##### (1) 教師のためのワークショップ（美術）

日時：2018 年 7 月 24 日、25 日、10：15～16：00

2018 年 7 月 31 日、13：30～16：45

会場：横浜美術館・8 階、円形フォーラム、展示室

7 月 24、25 日は小学校図画工作科研修として、31 日は中・高等学校美術作科研修として、として実施。横浜市内の小・中・特別支援学校、高等学校の主に図画工作科、美術科の教員 81 人が参加。横浜美術館教育普及チームのコーディネートにより、鑑賞をテーマとした研修を行いました。

##### (2) 教師のためのワークショップ（音楽）

日時：2019 年 2 月 13 日、15 時 30 分～16 時 45 分

会場：横浜市立仏向小学校・音楽室

横浜市特別支援教育研究会・情操運動部会研修会として実施。STスポット横浜によるコーディネートで音楽ユニット・即興からめーる団のおひとりである正木恵子さん（打楽器奏者）が

個別支援学級の教員向けに実技を盛り込んだ内容で講座を行いました。障害のある子どもたちへの音楽的なアプローチを模索する時間となりました。

(3) 文化芸術関係者のためのワークショップ「コーディネーター会議」

日時：2018年7月5日、10時～11時30分

会場：岩間市民プラザ・ホール

今年度に学校でのプログラムを担当するコーディネーターがあつまり情報交換を行う「コーディネーター会議」が行われ、総勢36名が集まりました。担当する学校とのプログラムを調整する際に起きる課題の整理や、過去に蓄積したプログラムのノウハウの情報交換を行い、少人数でのディスカッションを行いました。

(4) 横浜市芸術文化教育プラットフォーム・トークシリーズ

日時：2019年1月16日、19～21時

会場：STスポット

ゲスト：端山 聡子（横浜美術館 教育普及グループチームリーダー）

塚田 美紀（世田谷美術館 学芸員）

文化施設と子どもたちや若者をつなぐ取組について、ふたつの美術館の事例から考えを深めていきました。47名が参加。文化施設等の社会教育的役割について再考し、そこで行われる教育活動がどのように社会とつながっていくのか、その可能性について探る時間となりました。

## 2. 学校プログラムの実施

### (1) 横浜市立小・中・特別支援学校における実施

平成30年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業ーコミュニケーション能力向上事業ー」と横浜市の取組を連動させ、新吉田第二小学校、北山田小学校、南希望が丘中学校、上菅田特別支援学校の4校にてコーディネートを行いました。

### (2) 不登校状態にある児童生徒の支援施設における実施

横浜市教育委員会と連携し、不登校状態にある児童生徒の支援施設であるハートフルルーム十日市場にてコーディネートを試行的に実施しました。

【表11：学校プログラムの対象校数等】

校種	今年度	昨年度	備考
小学校	126校	125校	義務教育学校・小学部を含む
中学校	6校	6校	
義務教育学校	2校	1校	
特別支援学校	8校	8校	
合計	142校	140校	
合計（人数ベース）	13,708人	14,887人	

【表12：学校プログラムのジャンル・型別実施校数】

ジャンル	体験型	鑑賞型	合計
音楽	25校	21校	46校
美術	17校	2校	19校
演劇	10校	0校	10校
ダンス	15校	3校	18校
伝統芸能	22校	27校	49校
合計	89校	53校	142校

【表13：コーディネーター一覧】

アートNPOなど、民間の芸術団体 (26 団体)	地域の文化施設 (10 団体)
青葉区民文化センター フィリアホール	Media Global
泉区民文化センター テアトルフォンテ	NPO法人子どもに音楽を
栄区民文化センター リリス	NPO法人横浜こどものひろば
神奈川区民文化センター かなっくホール	NPO法人芸術家と子どもたち
港南区民文化センター ひまわりの郷	ART LAB OVA
旭区民文化センター サンハート	民族歌舞団荒馬座
鶴見区民文化センター サルビアホール	アートの時間
戸塚区民文化センター さくらプラザ	NPO法人Offsite Dance Project
緑区民文化センター みどりアートパーク	認定NPO法人あっちこっち
磯子区民文化センター 杉田劇場	NPO法人横浜シティオペラ
大倉山記念館	急な坂スタジオ
久良岐能舞台	象の鼻テラス
長浜ホール	吉野町市民プラザ
岩間市民プラザ	横浜市民ギャラリー
横浜市民ギャラリーあざみ野	横浜美術館
横浜にぎわい座	横浜赤レンガ倉庫1号館
横浜みなとみらいホール	横浜能楽堂
関内ホール	神奈川県立音楽堂
	事務局構成団体 (2 団体)
	公益財団法人芸術文化振興財団 協働推進グループ
	認定NPO法人STスポット横浜

【表14：直接コーディネートを行った学校・施設一覧】

学校名	学年	ジャンル	アーティスト	日程	回数	参加者数
新吉田第二小学校	4年生	音楽	西井夕紀子 (作曲家)	2018年11月22日、11月29日、12月6日、12月17日	4	27
北山田小学校	4年生	音楽	アンサンブル・ノマド (現代音楽アンサンブル)	2019年1月15日、1月23日、2月4日、2月12日	4	64
南希望が丘中学校	個別支援学級	演劇	花崎攝 (演出家)	2018年10月24日、10月31日、11月28日、12月5日	4	11
上菅田特別支援学校	高1~3年生	音楽	宮内康乃 (作曲家)、定方まこと (オイリュトミスト、ダンサー)	2019年1月15日、1月22日、2月5日、2月7日	4	15
ハートフルルーム十日市場	中1~3年生	ダンス	福留麻里 (振付家・ダンサー)	2019年1月17日、1月24日、1月31日	3	8

## 2. 地域事業

市民やNPO団体等が主体となって、市内の地域資源を活用し、地域住民と協力して継続的な事業を行っていく文化芸術活動の支援を行いました。市全域でのネットワークづくりやコミュニティの活性化を図るため、横浜市文化観光局、横浜市芸術文化振興財団と協働してヨコハマアートサイト事務局を構成し、事業を進行しました。

また、市域を離れた全国の事例を調査し検討するため研究会を運営し、アートの力を地域社会に活かしていく方途を模索しました。



### 1. 地域文化団体の助成金交付をはじめとしたサポート

ヨコハマアートサイト事務局として、助成金の交付対象事業を選考（申請 35 件中 27 件を採択）し、事業実施前・実施後におけるヒアリングを行うとともに、各団体の活動状況の視察を行いました。また、助成金交付を行い（助成総額：17,435,273 円）、参加団体の事業運営に関する相談に応じるなど、さまざまなかたちでサポートを行いました。

また、採択された事業などのネットワークづくりを支援するため、アートと地域のかかわりについて考える・交流する場「ヨコハマアートサイトラウンジ」を 4 回開催しました。また助成事業の報告会を開催しました。

これらに並行する形で、横浜の地域文化を考える・応援するための冊子「季刊ヨコハマアートサイト」を発刊し、横浜市内の多様な文化のかたちを伝えました。3 カ月に 1 回のペースで定期刊行を続け、地域文化のサポートを目指しました。



### 2. 全国の事例収集と調査・研究

地域と文化に関わる中間支援の実践的な「機能」を議論するための研究会「地域と文化と制度の研究会」をアーツカウンシル東京とともに運営しました。今年度は地域の文化事業が携わべき課題や事象を抽出するための検討やプログラムの企画立案に向けた議論を深めました。

【表15：ヨコハマアートサイト 2018 助成対象事業一覧】

団体名	事業名	実施区
アーティストネットワーク+コンパス	「会社まるごとギャラリー2018」	金沢区
特定非営利活動法人アーモンドコミュニティネットワーク	アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト	都筑区、緑区、他
NPO 法人あっちこっち	アート・フォー・コミュニティ～若手アーティスト達が人と地域コミュニティをつなぐためのスタート事業～	中区、南区
石川町ストリートアートプロジェクト実行委員会	石川町ストリートアートプロジェクト	中区
居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会	カドベヤ・オープン DAY—つどおう・かたろう・つながろう	中区
大岡川アートプロジェクト実行委員会	大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなあと 2018」	南区
かたるべハッピーザ	かたるべハッピーザ	都筑区、中区
金沢文庫芸術祭実行委員会	第 20 回金沢文庫芸術祭	金沢区

紙芝居文化推進協議会	第 19 回手づくり紙芝居コンクール	西区
特定非営利活動法人 S.A.I.	『部屋を育てる』アートプロジェクト (セノグラフィックアートの視点から部屋～街を考える)	中区
さかえ egao プロジェクト	さかえ egao フェスティバル	栄区
NPO 法人打楽器コンサートグループ・あしあと	こころに響く打楽器作っちゃおう	戸塚区、中区、南区
都筑アートプロジェクト	米からアート「二つの米から考える」	緑区
ティーンズクリエイション組織委員会	Wakamono Arts Festival 2018	栄区
一般財団法人日本京劇振興協会	こども京劇プロジェクト in Yokohama	中区、保土ヶ谷区、栄区
Picture This Japan	PICTURE THIS 2018: 横浜インターナショナルユースフォトプロジェクト	中区、栄区、南区
NPO 法人ぶかぶか	みんなでワークショップ	緑区
特定非営利活動法人横浜山手アーカイブス	横浜山手今昔 <絵葉書の世界～新関光ニコレクション～>	中区
洋光台ママゴスペルサークル なないろハーモニー	そのまま輝こう♪～ゴスペルコンサート&ワークショップ～	磯子区およびその近隣
横浜開港アンデパンダン展実行委員会	第七回横浜開港アンデパンダン展&干支の絵展	西区
横浜キネマ倶楽部	映画『どっこい! 人間節 寿・自由労働者の街』上映会 in 寿町 (横浜市中区) ~寿町をもっと知ろう! 最後の 1 人まで見捨てない街! ~	中区
横浜下町パラダイスマつり実行委員会	横浜下町パラダイスマつり 2018+よこはま若葉町多文化映画祭 2018	中区、南区、西区
横浜シネマネットワーク実行委員会	ハマ映画スタンプラリー プロジェクト	中区
横浜・藤棚シネマ商店街実行委員会	横浜・藤棚シネマ商店街 2018 横浜在住イラストレーター・タムラフキコのキセキ	西区
ライフアートユニオン	みんな集まれ! 月曜広場	中区
LITTLE ARTISTS LEAGUE YOKOHAMA	LITTLE ARTISTS LEAGUE YOKOHAMA ART PROGRAM 2018 ~子どももの感性を磨く多文化共生グローバルアート活動~	西区

【表 16 : ヨコハマアートサイトラウンジ・事業報告会一覧】

回	企画名	テーマ	開催日	主な出演者 (敬称略)	会場	協働団体
18	アーティスト in 商店街	地域コミュニティとしての商店街	2018 年 11 月 27 日	飯田峰子 (石川町ストリートアートプロジェクト実行委員会/石川町ひらがな商店街ウエストアベニュー会長)、厚地美香子 (認定 NPO 法人あっちこっち理事長)、内木里美 (ダンサー/こどもディスコ主宰)	マーケット テラスカフェ 石川町	—
19	子どものアトリエから考えたこと	美術館教育	2019 年 1 月 25 日	三ツ山一志 (横浜市民ギャラリー 主席エディター)、浅葉弾 (金沢文庫芸術祭 実行委員長)	港南区民文化センター ひまわりの郷	横浜美術館 子どものアトリエ
20	場づくりとアートの営み	アートワークショップと場	2019 年 2 月 17 日	荻野亮一 (社会学研究者)、青木拓磨 (音楽家/かたるべハッピーザ 代表)、渡邊梨恵子 (一般社団法人 谷中のおかって 代表)	Kosha33 ホール	TPAM
21	まちでのアート、次のステップどうつくる?	市民活動とアート	2019 年 3 月 5 日	薄井智洋 (認定 NPO 法人市民セクターよこはま)、片岡直子 (紙芝居文化推進協議会)、半谷麻意子 (NPO 法人打楽器コンサートグループ・あしあと)	mass × mass 関内フューチャーセンター	—
報告会	アートの取組から地域文化を考える	ヨコハマアートサイト 2018 参加事業の報告	2019 年 3 月 16 日	藤川悠 (茅ヶ崎市美術館 学芸員/ヨコハマアートサイト 2018 選考委員)、原美紀 (認定 NPO 法人びーのびーの副理事長・事務局長)	YCC ヨコハマ創造都市センター	—

【表17：季刊ヨコハマアートサイト一覧】

号	特集	発行月	主に取り上げた事業や場所
16	味わってつながる(食文化とアート)	2018年6月	鶴見の田祭り(鶴見区)、JA 横浜 クッキングサロン ハマツ子(都筑区)、NPO 法人横浜ガストロノミ協議会(中区)、中山肉店(緑区)、吉野町市民プラザ(南区)、「銭湯と横浜」展(中区、都筑区)、「カメラのしくみ」展(青葉区)、元気に泳げ! こいのぼり(戸塚区)、森と遊ぼうワークショップ(緑区)
17	歌のある場所(うたとアート)	2018年9月	かたるべハッピーザ(都筑区)、洋光台ママゴスペルサークル なないろハーモニー(磯子区)、武州金沢釜利谷宿郷土芸能保存会(金沢区)、かなつくホール(神奈川区)、「米からアート」展(緑区)、横浜山手今昔 <絵葉書の世界~新関光ニコレクション~>(中区)、ボイストレーニング 声でつながる!(中区)、モネの蓮池を作ろう MAKE MONET'S WATER LILY POND(中区)
18	道ばたの風景から(景観とアート)	2018年12月	LifeWorks プロジェクト(市内全域)、都筑アートプロジェクト(緑区)、横浜キネマ倶楽部(中区)、時をかけるヨコハマ(市内全域)、久良岐能舞台(磯子区)、WaWaWa! MM駅ナカ祭り(中区)、リリースの大冒険(栄区)、金沢文庫芸術祭(金沢区)、会社まるごとギャラリー2018(金沢区)
19	まちなかのプロデューサー(つなぎ手とアート)	2019年3月	石川町ストリートアートプロジェクト(中区)、さかえ egao フェスティバル(栄区)、二階劇場(神奈川区)、はっぱオールスターズ(瀬谷区)、大佛次郎記念館(中区)、柴燈護摩火生三昧火渡り修行(港北区)、かたるべハッピーザ(都筑区)、まちかどアートラリー(金沢区)、『部屋を育てる』アートプロジェクト(中区)

【表18：地域と文化と制度の研究会】

回	企画名	開催日	メンバー(敬称略)
1	検討会	2019年1月28日	佐藤李青(アーツカウンシル東京プログラムオフィサー)、戸館正史(愛媛大学社会共創学部助教/松山ブンカ・ラボ ディレクター) 小川智紀、田中真実
2	災害の記憶・記録について	2019年2月18日	話題提供: 高森順子(愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター助教/阪神大震災を記録しつづける会) 佐藤李青(アーツカウンシル東京プログラムオフィサー)、戸館正史(愛媛大学社会共創学部助教/松山ブンカ・ラボ ディレクター) 小川智紀、田中真実
3	来年度にむけて	2019年3月27日	佐藤李青(アーツカウンシル東京プログラムオフィサー)、戸館正史(愛媛大学社会共創学部助教/松山ブンカ・ラボ ディレクター) 小川智紀、田中真実

### 3. 福祉事業

平成30年度かながわボランティア活動推進基金21・協働事業負担金として、「地域における障害者の文化芸術体験活動支援事業」を実施しました。



#### 1. コーディネーター育成および調査研究

“そこにいること”へのまなざしをテーマに、芸術文化関係者を対象とした勉強会を4回や報告会を1回実施し、のべ79人が参加しました。障害福祉分野と文化芸術分野の関係者が出会い、交流する時間を設けることができました。

また調査研究の一環として、障害福祉サービス事業所19か所、文化芸術団体2か所、自治体等8か所、計29か所に現状の課題などをヒアリング調査し、今年度の成果をまとめた報告書を3000部作成し、神奈川県内の福祉施設や文化施設に配布しました。またウェブサイトでも公開しました。

## 2. ワークショップの実施

神奈川県内での取組みとして、県内の障害福祉サービス事業所等 7 か所に対してのべ 21 回芸術家を派遣し、施設の希望に応じて演劇やダンス、音楽等、広範な文化芸術体験を実施しました。また横浜市内では、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018 補助事業として障害福祉サービス事業所等 2 か所に対してのべ 5 回芸術家を派遣し、施設の希望に応じてダンスのワークショップを行いました。

今年度は、昨年度に引き続き実施をした障害福祉サービス事業所 3 か所とともに記録動画を作成しました。単なるワークショップの記録にとどまることなく、福祉施設の日常や福祉施設職員の本事業への思いも収めることができ、長く活用できる動画となりました。

あわせて、今年度ダンスの取組みを実施したアーティストとともにその実践を振り返る場「ダンスプログラム検討会」を設けました。講師のひとりである砂連尾理さんが受け持つ立教大学現代心理学部・映像身体学科のゼミの時間に実施し、現役の学生も交え、現場を共有しました。

【表19：ワークショップ実施事業一覧】

施設名または企画名	施設種別	障害種別	ジャンル	アーティスト	日程	回数	参加者数
リエゾン笠間	障害者支援施設	身体、知的	美術	ドゥイ(造形ユニット)	2018年12月7日、12月12日	2	32
YSK 作業所	地域活動支援センター	知的	ダンス	岡田智代(ダンサー、振付家)	2018年10月2日、10月30日、11月20日、12月18日、2019年1月15日	5	49
みどり福祉ホーム	障害者地域活動ホーム	身体、知的	ダンス	砂連尾理(ダンサー、振付家)	2018年11月26日、12月3日、12月10日	6	53
ひふみ	地域活動支援センター	精神	音楽	岸野雄一(スタジオイスト)	2018年11月21日、2019年2月16日	2	71
リバーサイド泉Ⅲのぞみ・ひまわり	障害者サービス事業所(生活介護)	身体、知的	美術	ドゥイ	2018年8月28日、12月26日、2019年2月4日	3	59
コミュニティセンター・フレンズ	障害者地域作業所	身体、知的	ダンス	上村なおか(ダンサー、振付家)	2019年2月14日、2月15日	2	19
生活介護支援事業所のびやか	障害者サービス事業所(生活介護)	知的	音楽	西井夕紀子(作曲家)	2018年12月11日、2019年1月10日、2月8日	3	37
磯子区障害者地域活動ホーム	障害者サービス事業所(生活介護)	知的	ダンス	入手杏奈(ダンサー)	2018年9月12日、9月26日、10月10日	3	76
ダンスプログラム検討会	—	身体、知的、精神的	ダンス	岡田智代、砂連尾理、上村なおか、入手杏奈(ダンサー、振付家)	2018年12月4日	1	10

【表20：コーディネーター育成事業一覧】

回	企画名	開催日	主な出演者（敬称略）	テーマ	人数	会場
1	障害のある人の表現に出会う場	2018年11月5日	中畝常雄(NPO 法人スペースナナ、ココロはずむアート展書記)、石井将隆(地域作業所カブ川和、ココロはずむアート展実行委員長)	障害のある人の表現を地域にひらく活動について	15	スペースナナ
2	身体を通じた対話	2019年1月11日	砂連尾理(ダンサー・振付家)	ダンスを通じた障害のある人との出会いについて	9	社のホール橋本
3	地域のつながり手、担い手	2019年1月23日	中村麻美(地域活動支援センターひふみ 施設長)、原島隆行(横浜市六角橋地域ケアプラザ コーディネーター)	施設の枠にとらわれない協働のかたちを考える	16	STスポット
4	障害者と芸術鑑賞	2019年2月20日	林建太(視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ代表)、関淳一(横浜美術館)	障害のある人と美術館のあり方について	21	STスポット
5	地域にひらく、域でつむぐ	2019年3月7日	坂倉杏介(東京都立大学都市生活学部 准教授)、入手杏奈(ダンサー)、安武宗吾(磯子区障害者地域活動ホーム)、小野亜斗子(造形作家)、今村憲一(リエゾン笠間)	今年度の活動報告とワークショップ事業の事例紹介	18	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

【表21：ヒアリング先一覧】

ヒアリング先	種別	地域
コミュニティセンター・フレンズ	障害福祉サービス事業所	横須賀市
Dayz かしこ	障害福祉サービス事業所	横須賀市
ぶどうの木	障害福祉サービス事業所	横須賀市
生活介護支援事業所のびやか	障害福祉サービス事業所	相模原市
アトリエそらのいろ	障害福祉サービス事業所	鎌倉市
えのきの里	障害福祉サービス事業所	座間市
障害者総合福祉施設アガベセンター	障害福祉サービス事業所	座間市
アール・ド・ヴィーヴル	障害福祉サービス事業所	小田原市
GALLERY COOCA&CAFE	障害福祉サービス事業所	平塚市
生活介護 Jump	障害福祉サービス事業所	厚木市
studioトネリコ	障害福祉サービス事業所	寒川町
みどり福祉ホーム	障害福祉サービス事業所	横浜市緑区
ひふみ	障害福祉サービス事業所	横浜市神奈川区
リバーサイド泉Ⅲのぞみ・ひまわり	障害福祉サービス事業所	横浜市泉区
YSK 作業所	障害福祉サービス事業所	横浜市神奈川区
リエゾン笠間	障害福祉サービス事業所	横浜市栄区
磯子区障害者地域活動ホーム	障害福祉サービス事業所	横浜市磯子区
まどか工房	障害福祉サービス事業所	横浜市旭区
アートかれん	障害福祉サービス事業所	横浜市港北区
公益財団法人相模原市民文化財団	文化芸術団体	相模原市南区
公益財団法人川崎市文化財団	文化芸術団体	川崎市幸区
相模原市障害政策課	自治体等	相模原市
相模原市文化振興課	自治体等	相模原市
横須賀市障害福祉課	自治体等	横須賀市
横須賀市文化振興課	自治体等	横須賀市
小田原市文化政策課	自治体等	小田原市
横浜市障害福祉課	自治体等	横浜市
横浜市文化振興課	自治体等	横浜市
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール	自治体等	横浜市

## 事務局

法人事務局として、部門の統括を行うとともに、広報宣伝などを行いました。

認定NPO法人化を機に開始した寄附獲得にむけての広報宣伝等を行うとともに、レクチャー・シンポジウムなどへの出演を積極的に行い、団体および事業の広報を行いました。また、大学やNPOとの連携を通して、インターンシップ等大学生の受入れを行いました。このほか年間を通して青山学院大学地域社会共生学部と連携し、大学生とともに、STスポット横浜の事業について、さまざまな方面から共同研究による考察を行いました。

【表22：レクチャー、シンポジウム等への出演】

企画名	会場	主催等団体	日付	担当など
振付家ワークショップ vol.1 (ディレクション：梅田宏明)	STスポット・森下スタジオ	Somatic Field Project	2018年7月～9月	佐藤泰紀がゲスト講師として参加
TPAM エクスチェンジ「スピード・ネットワーキング」	横浜市開港記念会館	NPO法人国際舞台芸術交流センター	2019年2月12日	佐藤泰紀がホストとして参加
アクションポート横浜インターンお見合い会	横浜市立大学ピオニーホール	NPO法人アクションポート横浜	2018年6月2日	田中真実が登壇
宇都宮大学地域デザイン科学部「コミュニティデザイン演習」	宇都宮大学陽東キャンパス	宇都宮大学	2018年6月20日	田中真実が登壇
子どもと舞台芸術—出会いのフォーラム2018「今、若者が語ります～子どもと社会、子どもと文化、そして未来へ～」	国立オリンピック記念青少年総合センター	子どもと舞台芸術大博覧会実行委員会	2018年7月31日	小川智紀が登壇
子どもとアーティストの出会い 10周年記念企画「15,000人の子どもとアーティストの出会い」	梅小路公園 緑の館	NPO法人子どもとアーティストの出会い	2018年8月5日	田中真実が登壇
特別番組「子どもと演劇と劇場」	—	コミュニティ FM 放送局「新居浜 FM78.0」	2018年8月19日	小川智紀がゲスト出演
つながりのまちづくりフォーラム2018	神奈川県民文化センターかなっくホール	横浜市市民活動支援センター、横浜市市民局、横浜市都市整備局	2018年12月5日	田中真実が登壇
情報誌 animato26号	—	横浜市市民活動支援センター	2018年3月31日	田中真実がコラム執筆

【表23：インターンシップ等の受入】

大学名	プログラム名	受入人数	備考
桐蔭横浜大学	サービスラーニング実習	1	—
お茶の水女子大学	NPO インターンシップ実習	2	—
横浜美術大学、明治学院大学、横浜国立大学	NPO インターンシップ	4	NPO法人アクションポート横浜のコーディネートによる

## 活動計算書

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科目	金額 (単位:円)		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	110,000		
フレンドシップ会員受取会費	0		
入会金	0	110,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	158,000	158,000	
3. 受取助成金等			
受取助成金	300,000		
受取補助金・負担金	77,037,273	77,337,273	
4. 事業収益			
事業収入	1,319,262		
利用協力費	5,240,623		
受託費	6,391,222	12,951,107	
5. その他収益			
雑収入	100,440		
その他の収入	29,403	129,843	
経常収益計			90,686,223
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給与手当	24,948,756		
通勤費	1,227,957		
臨時雇賃金	0		
福利厚生費	4,234,264		
人件費計	30,410,977		
(2) その他経費			
諸謝金	5,671,098		
委託費	20,727,425		
助成費	17,435,273		
制作費	375,321		
消耗品費	507,095		
印刷費	1,730,134		
広報宣伝費	3,799,678		
旅費交通費	1,129,256		
支払手数料	127,434		
地代家賃	1,574,268		
会場借上費	329,220		
通信費	1,187,750		
会議費	1,060,513		
設備費	1,837,675		
リース料	273,456		
租税公課	15,927		
その他経費計	57,781,523		
事業費計		88,192,500	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	173,244		
通勤費	7,685		
福利厚生費	21,438		
退職給与繰出金	1,000,000		
人件費計	1,202,367		
(2) その他経費			
諸謝金	621,595		
租税公課	0		
設備緊急対策金	200,000		
その他経費計	821,595		
管理費計		2,023,962	
経常費用計			90,216,462
当期経常増減額			469,761
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			469,761
法人税、住民税及び事業税			504,800
当期正味財産増減額			▲ 35,039
前期繰越正味財産額			16,279,201
次期繰越正味財産額			16,244,162

## 財務諸表の注記

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

平成31年3月31日現在

1. 重要な会計方針  
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。  
(1)消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。  
(2)引当金の計上基準  
  - ・退職給与引当金 将来の退職金支給のため、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
  - ・設備緊急引当金 設備の緊急補修などに備え、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
- (3)準備金の計上基準  
  - ・企画連携事業準備金 今後の事業開発に向けて、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
2. 事業費の内訳  
事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	創造環境事業部	地域連携事業部	事業費計
(1) 人 件 費			
給 与 手 当	6,548,707	18,400,049	24,948,756
通 勤 費	321,376	906,581	1,227,957
臨 時 雇 賃 金	0	0	0
法 定 福 利 費	1,070,601	3,163,663	4,234,264
人 件 費 計	7,940,684	22,470,293	30,410,977
(2) そ の 他 経 費			
諸 謝 金	1,011,926	4,659,172	5,671,098
委 託 費	0	20,727,425	20,727,425
助 成 費	0	17,435,273	17,435,273
制 作 費	71,925	303,396	375,321
消 耗 品 費	210,411	296,684	507,095
印 刷 費	66,630	1,663,504	1,730,134
広 報 宣 伝 費	29,678	3,770,000	3,799,678
旅 交 通 費	159,664	969,592	1,129,256
支 払 手 数 料	22,944	104,490	127,434
地 代 家 賃	0	1,574,268	1,574,268
会 場 借 上 費	2,600	326,620	329,220
会 信 費	128,695	1,059,055	1,187,750
設 議 費	306,122	754,391	1,060,513
一 備 費	1,835,645	2,030	1,837,675
租 税 公 課	182,304	91,152	273,456
そ の 他 経 費 計	1,827	14,100	15,927
合 計	11,971,055	76,221,445	88,192,500

3. 使途等が制約された寄付等の内訳  
使途が制約された補助金等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

名称	拠出元	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
STスポット運営補助金	横浜市	0	6,100,000	6,100,000	0
芸術文化教育プログラム推進事業補助金	横浜市	0	32,440,000	32,440,000	0
地域文化サポート事業プラットフォーム補助金	横浜市	0	29,935,273	29,935,273	0
かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金	神奈川県	0	7,761,000	7,761,000	0
文化芸術活動団体事業補助金	神奈川県	0	101,000	101,000	0
Dance Dance Dance @YOKOHAMA2018補助金	横浜アーツフェスティバル実行委員会	0	700,000	700,000	0
Free Will	株式会社リコー社会貢献クラブ	0	300,000	300,000	0
文化芸術による子供の育成事業・コミュニケーション能力向上事業	文化庁	0	1,955,000	1,955,000	0
合計		0	79,292,273	79,292,273	0

## 貸借対照表

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

平成31年3月31日現在

科 目	金 額 (単位：円)		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金・預金			
現金	317,433		
預金	31,210,538		
現金・預金 計	31,527,971		
その他流動資産			
未収入金	0		
仮払金	80,000		
その他流動資産 計	80,000		
<b>流動資産合計</b>		<b>31,607,971</b>	
<b>2. 固定資産</b>			
投資その他の資産			
敷金	1,260,000		
投資その他の資産 計	1,260,000		
<b>固定資産合計</b>		<b>1,260,000</b>	
<b>資産合計</b>			<b>32,867,971</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
預り金	571,860		
前受金	822,975		
仮受金	245,727		
未払費用	592,022		
<b>流動負債合計</b>		<b>2,232,584</b>	
<b>2. 固定負債</b>			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	8,035,747		
設備緊急引当金	4,855,478		
<b>固定負債合計</b>		<b>14,391,225</b>	
<b>負債合計</b>			<b>16,623,809</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		16,279,201	
当期正味財産増減額		▲ 35,039	
<b>正味財産合計</b>			<b>16,244,162</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>32,867,971</b>

## 財産目録

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

平成31年3月31日現在

科 目	金 額 (単位:円)		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金			
手許現金	317,433		
住信SBIネット銀行 法人第一支店 普通	13,743,409		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	3,075,904		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	8,035,747		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	1,500,000		
静岡銀行 横浜支店 普通	4,855,478		
未収入金	0		
仮払金			
つり銭	80,000		
<b>流動資産合計</b>		<b>31,607,971</b>	
<b>2. 固定資産</b>			
投資その他の資産			
敷金			
住友信託銀行(株)	1,260,000		
<b>固定資産合計</b>		<b>1,260,000</b>	
<b>資産合計</b>			<b>32,867,971</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
前受金			
令和元年度利用協力費(8団体)	822,975		
仮受金			
横浜市	64,727		
神奈川県	181,000		
預り金			
源泉所得税等	571,860		
未払費用			
社会保険料等	592,022		
<b>流動負債合計</b>		<b>2,232,584</b>	
<b>2. 固定負債</b>			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	8,035,747		
設備緊急引当金	4,855,478		
<b>固定負債合計</b>		<b>14,391,225</b>	
<b>負債合計</b>			<b>16,623,809</b>
<b>正味財産</b>			<b>16,244,162</b>